

浄水器専用シングルレバー式シャワー付混合栓
KM6121ECM 〈各仕様共通〉

施工説明書1

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した 警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した 注意 は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行していただき「強制」の内容です

警告	湯水を逆に配管しないでください。 禁止 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。	給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。 禁止 85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
注意	給湯に蒸気を使用しないでください。 禁止 器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。	配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。 禁止 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

注意	器具に強い力や衝撃を与えないでください。 禁止 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	塗装部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。 また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。 禁止 表面が割れて、けがをするおそれがあります。	シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。 禁止 飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。
-----------	--	--	---

注意	配管接続部をテープねじに接続しないでください。 禁止 テープねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	表面が割れた場合は使用しないでください。 けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。	水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。 水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になったり、体調を損なうおそれがあります。
	止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管等を介してください。 高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。 凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け前に

- ① 使用水圧 [$A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失)$]
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25°C 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42°C ハンドル全開)
〔比例制御式〕 最低必要水圧: $A+0.10\text{MPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕 最低必要水圧: $A+80.0\text{KPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くなるか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60°C以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に侵入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

故障かなと思ったら…

修理を依頼される前にお確かめください。

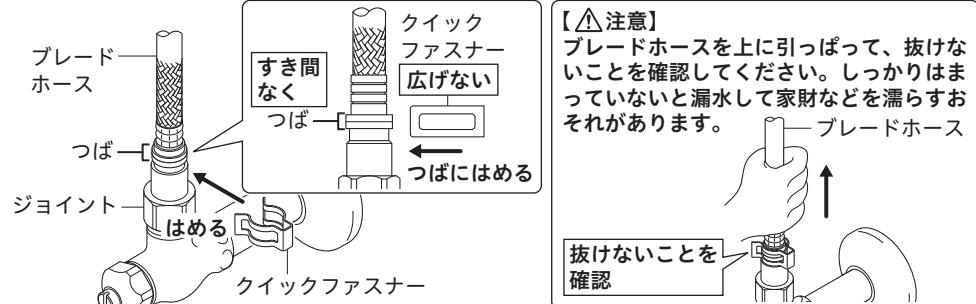
→ 取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

- [注意]・修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
・メンテナンスは、本体を保持しながら行ってください。
シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

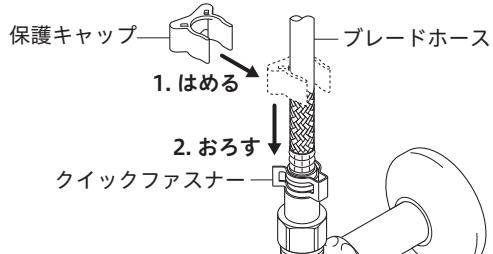
取り付け手順 3

6² ③ クイックファスナーをブレードホースとジョイントのつばにはめます。



④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。

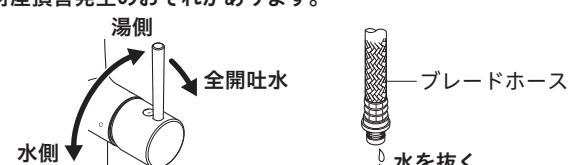
この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。



一度はずしたブレードホースを再接続する場合

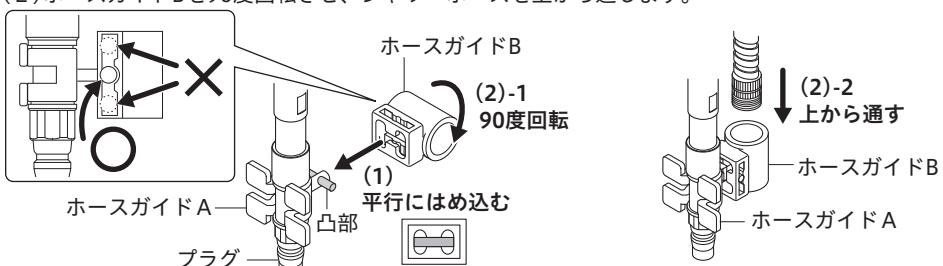
- ・レバーハンドルを全開吐水状態で湯水に振り、湯側・水側それぞれのブレードホース内の水を抜いてください。
- ・混合位置でレバーハンドルを開いた状態で、「6 止水栓との接続」に従いブレードホースを接続してください。

【△注意】ブレードホース内の水を抜かないと、正しく施工できなかったり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



7¹ カプラーユニットの取り付け

- ① (1) 同梱のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
② ホースガイドBを90度回転させ、シャワーhosueを上から通します。

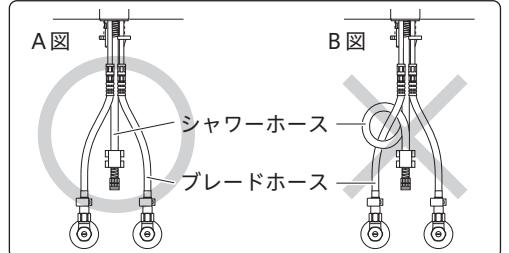


7 ページ

7²

【△注意】

固定した際、シャワーhosueがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、ブレードホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーhosueが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

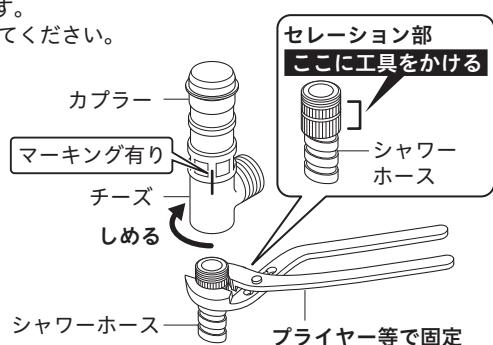


- ② チーズとカプラーの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色マーキング有り)
緩んでいる場合はカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。

(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
カプラーユニットとシャワーhosueを接続します。

カプラーユニット手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【△注意】
カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※シャワーhosueのセレーション部以外に工具をかけない
※シャワーhosueはねじらない

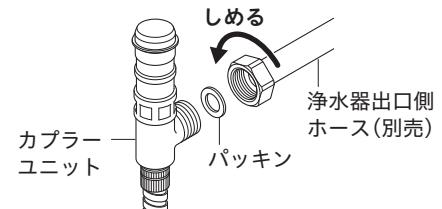


8 净水器出口側ホース(別売)との接続

カプラーユニットに浄水器出口側ホースを接続します。

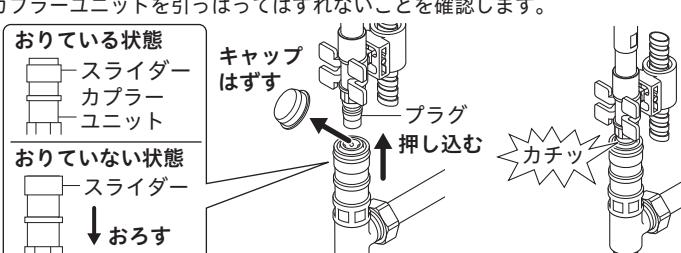
【△注意】接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。

締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。



9¹ シャワーhosueの接続

カプラーユニットのキャップをはずし、スライダーを下におろしてから、本体のプラグヘカチッ音がするまで押し込みます。(スライダーがすでにおりている場合もあります。) 取り付け後、カプラーユニットを引っ張ってはずれないことを確認します。



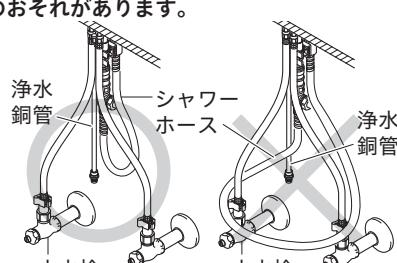
8 ページ

取り付け手順 4

9²

【△注意】シャワーhosueは止水栓や浄水銅管等に引っかけないで、給水・給湯hosueの間にぶら下げてください。

シャワーhosueが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーヘッドを引き出し、シャワーhosueがスムーズに動くことを確認してください。
流し台に水受け用タンクがある場合 シャワーhosueの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。

【△注意】

カプラーユニット取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。
確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

- ・スライダーが上がっていること



- ・カプラーユニットを真下に引っ張ってはずれないこと



10¹ 浄水器入口側ホース(別売)との接続

- ① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。
その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。

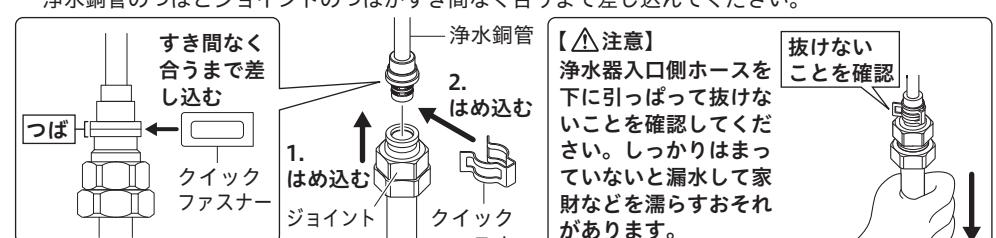
【△注意】接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

[給水圧力0.35MPa以上0.75MPa未満の場合]

浄水器入口側ホースとジョイントの間にあるパッキンの代わりに、減圧ブッシュ(同梱品)を取り付けてください。



- ② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックファスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。
浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。



9 ページ

10²

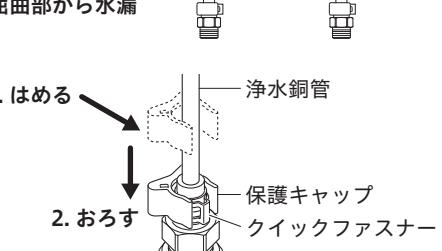
【△注意】

・浄水銅管はなるべくやかに曲げてください。
鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)
急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・上下戻り配管はやめてください。(B図)
ウォーターハンマーなどで浄水銅管が振動した際、屈曲部から水漏れ発生の原因となります。

・浄水銅管は切断しないでください。

- ③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックファスナーまでおろします。



11 浄水器との接続

浄水器セットの施工説明書を参照してください。

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

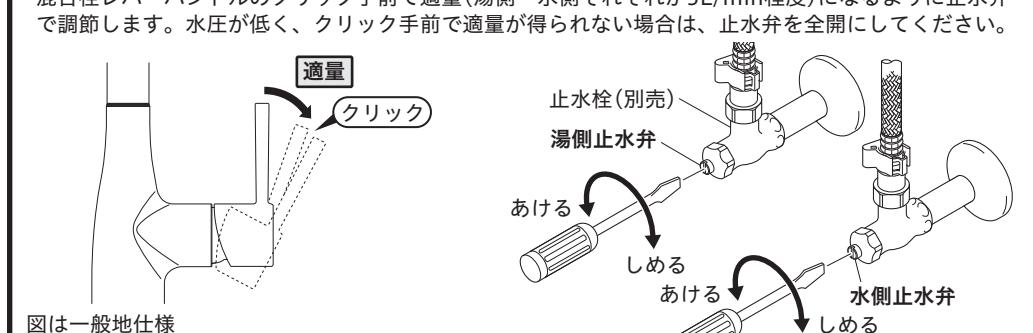
シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

→ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。
混合栓レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。



10 ページ

405111-02